

和田地区の概要

和田地区は佐倉市の最東端に位置し、12の地区より構成されている。昭和29年の市制発足以前は「和田村」と称し、明治22年から14の村落で構成されていた。面積は市全体の14%に当たる14.4平方キロ、人口は1.3%に当たる2,229人、世帯数は767世帯で、農業が盛んな地域である。

大正頃までの農家の主な産物は米・養蚕であったが、昭和初期になると養蚕が衰え、里芋・落花生・甘藷に変わる。戦後、豚の飼育が盛んになり、昭和27年頃には全国的に有名な養豚地区となる。その後、養豚・酪農・大和芋と専門化され、大型機械の導入も盛んに行われている。

このように専門化された農業地域においても、年々農業従事者は減少し、後継者育成にも大きな問題をなげかけている。地区全域が市街化調整区域のためもあり、人口は減少傾向を示している。また、少子化、核家族化など都市化傾向もみられ、青年層の地域外流出、高齢者層の増加など、純農村として構成されていた社会は変化し続けている。また、地区内を国道51号線と東関東自動車道が通り、佐倉インターチェンジが隣接しているため、和田地区内にも企業の物流基地が進出しており、新たな変化も見られる。

平成11年12月、和田地区の中核施設として和田ふるさと館が開館した。和田出張所、和田コミュニティセンター、和田地域防災集会所、和田農産加工実習所の多くの機能を持つ施設となっている。また平成12年度には、和田公民館分館として歴史民俗資料室の展示工事を実施し、平成13年4月1日に和田ふるさと館歴史民俗資料室が開室した。

地区面積	14.4 km ²	地区人口	2,229人	地区人口密度	156人 / km ²
------	----------------------	------	--------	--------	------------------------

管理・運営の部

1. 公民館運営計画

運営方針

佐倉市立公民館運営計画を基本として、常に地域の実態をとらえながら、使いやすく、親しみのある教育施設として住民の自主的交流・集会・学習などの活動を助成し、地域社会教育活動の中心としてその役割をはたすことに努める。

努力目標

- 使いやすく、親しみのある館の環境づくりに努める。
- 地域性を生かした学習内容の充実をはかる。
- 公民館事業と地域団体活動等を効果的・有機的に結びつけていく努力をする。

事業内容

1. 学級講座に関する事業

参加者手作りの学級・講座を開設し、それぞれに興味・教養的学習から専門的学習に至るまで、日常生活に密着した幅の広い学習を展開すると共に、地区住民としての共通の課題を探り、参加者がそれぞれの立場で考え、学習しながら実践に結びつけていくための足がかりとする。

2. 団体育成に関する事業

はたおり保存会・和田小PTA民俗資料収集委員会等の社会教育団体が自主的、継続的に活動ができるよう資料の提供や、各機関との連絡調整などの援助を行う。各種の住民団体が円滑な活動をすすめられるよう援助・協力をする。

3. 歴史民俗資料室展示事業

平成13年4月1日に和田ふるさと館内に開室した歴史民俗資料室において、和田地区民俗資料（佐倉市指定文化財）を中心として、展示・収蔵・調査研究・教育普及活動、及び伝統技術等の保存継承活動を行い、地区の歴史環境・自然環境と地域の人材を活用した地域づくりの拠点とする。

4. 広報に関する事業

「公民館だより・お知らせ」の発行 年6回発行

5. 図書事業

市立図書館との連携により、図書案内を充実し、リクエスト制度などにより利用増を図る。
（蔵書約1,800冊 貸出し1人10冊 期間2週間）

6. 施設・設備・備品の提供

開館 月～日曜日 午前9時～午後5時（祝日及び第2第4月曜日は休館）
火・金曜日の夜間（午後10時まで）

2 . 公民館利用状況

年度別利用状況

年度 区分	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度
利用件数	466	486	486	532	532
利用人数	6,320	6,649	6,649	5,441	5,980
開館日数	322	325	325	320	323

事業の部

事業一覧

領域	事業名	学習内容	対象・人数	期間・回数
家庭教育	子育て教室	楽しい親子遊びを通して、幼児の自立のための親の役割、環境づくりや遊びの意義などについて学習した。	2・3歳児とその保護者 延べ309名 (子ども166名,大人143名)	6～12月 9回
	家族で遊ぼう	家族遊びを通して、幼児への父親や家族の係わりかたを学習した。	延べ30名 【子ども14名、 大人16名(うち父親4名)】	10月 1回
	家庭教育講座	子育て情報交換会やパソコンを活用したコミュニケーション技術を習得し、子育ての悩みなどを相談し合える仲間づくりを行った。	地区の小学生・幼稚園児の親 延べ131名	5月～2月 21回
青少年教育	剣道教室	異年齢集団の中で、剣道を通し心身の健全育成と社会人として必要な習慣を身につけるよう指導した。	地区の小学生 延べ392名	5～3月 24回
	佐倉っ子塾 おもしろ体験教室	料理(3)・グラウンドゴルフ(1)・凧作り(1)を地域の協力で実施し、子どもの自立と健全育成を図った。	地区の小学生 延べ66名	6～2月 5回
	夏休みおもしろ 体験合宿	子どもの自主性、協調性、社会性を高めるため、保護者と地域の協力により、子どもたちに共同生活体験の機会を提供した。	地区の小学生 (4年～6年) 延べ26名	8月18日～ 19日 1泊2日
成人教育	パソコン講座	初心者を対象に、パソコンの基礎技術を習得し、情報活用能力の向上を図った。	地区の成人 延べ56名	6月～12月 5回
	地域活動実践 パソコン教室	名簿、会計簿、領収証、会報誌の作成など、地域活動の実践現場で役に立つパソコン技術を学習した。	地区の成人 延べ13名	2月～3月 5回
	パソコン自由利用	自由にパソコンを利用してもらった。 パソコン2台	一般	通年
	図書貸し出し	公民館図書コーナーの図書提供のほか、市立図書館と連携しリクエスト図書の提供を実施した。	一般	通年
	ふるさとの味工房	和田地区の特長を活かし、食材を地元の物を使用して食文化の伝承を図る。【太巻き寿司2回、大和芋1回、和田の新鮮野菜料理1回】	市内の成人 延べ54名	9月～2月 4回

	ハーブ教室	地域で栽培されているハーブを使って、クッキングやアレンジメントを楽しみ、健康づくりや香りの演出などに挑戦した。	地区の成人 延べ 37 名	6 月～ 12 月 3 回
	ハンギング バスケット教室	地域の中に四季折々の花を育て飾りつけていくハンギングバスケットを通じて、自分の創意工夫で街を美しく出来ることを学んだ。	地区の成人 延べ 63 名	5 月～ 12 月 4 回
	エアロビクス教室	地域の中で定期的に地域住民が集い、健康増進を図ることができる場として、体力の向上・ストレスを解消するエアロビクス教室を実施した。	地区の成人 延べ 102 名	9 月～ 2 月 6 回
	文化展	公民館利用団体・地域の個人作品の展示会を実施した。	一般 延べ 217 名	11 月 17 日～ 11 月 19 日 3 日間
	避難所運営訓練 (まちづくり事業)	地域での防災活動が促進されることをねらいとして 1 回目の訓練を館主導で実施し、訓練方法や関係機関との連携を学んだ。	和田地区市民 143 名	1 月 12 日 1 回
	和田ふるさと講座	和田地区の歴史や民俗を知り、豊かな自然を体感することにより、和田地区の魅力を再発見するための講座を実施した。	一般 延べ 127 名	4 月～ 1 月 6 回
高齢者教育	長命大学	高齢者が心身ともに健康で生き甲斐のある生活を過ごせるよう、様々な学習を行った。	主に 60 歳以上の成人 延べ 86 名	6 月～ 12 月 4 回
	長命大学手芸教室	手芸を通して親睦交流を深め生き甲斐づくりを図った。	主に 60 歳以上の成人 延べ 58 名	5 月～ 3 月 10 回
広報・展示	公民館だより発行	公民館主催事業や地域行事等の情報提供を行った。	和田地区全世帯	年 6 回発行
	歴史民俗資料室の公開	和田ふるさと館歴史民俗資料室を展示し、見学者への解説等を行った。	一般 入館者 1,670 名	通 年
団体育成	団体育成事業	地域の社会教育団体、住民団体等が継続的に活動できるよう協力援助した。	和田地区青少年 育成住民会議	通 年
	団体育成事業	地域の社会教育団体、住民団体等が継続的に活動できるよう協力援助した。	和田小 P T A 民俗資料収集委員会	6 月～ 3 月 8 回
	団体育成事業	地域の社会教育団体、住民団体等が継続的に活動できるよう協力援助した。	和田はたおり保存会	通 年

1 . 家庭教育事業

子育て教室・家族で遊ぼう

○開設趣旨 幼児期の中でも人格形成に重要とされる3才前後の幼児とその保護者を対象にして、楽しい親子遊びを通して、気軽に集い子どもの自立のための子育て、遊びの意義、親子のあり方、家族や地域のありかたなどを共に考え、話し合える場として開設する。

○対象・人数 地区の2・3才児とその保護者 延べ339名(うち家族で遊ぼう・延べ30名)

○期間・回数 平成18年6月～18年12月 10回(うち家族で遊ぼう・1回)

○指導者 蓮 淳子

○学習プログラム

回	月 日(曜)	テ ー マ	会 場
1	6月23日(金)	開講式 お母さん大好き	和田ふるさと館
2	7月 7日(金)	お星様がいっぱい	和田公民館
3	9月 8日(金)	新聞紙で遊ぼう	和田ふるさと館
4	9月29日(金)	ボールで遊ぼう	和田ふるさと館
5	10月13日(金)	元気なからだ	和田公民館
6	10月22日(日)	家族で遊ぼう	和田ふるさと館
7	11月10日(金)	秋を見つけにいこう!	和田ふるさと館
8	11月24日(金)	造形遊び	和田ふるさと館
9	12月 1日(金)	伝承遊び(お楽しみ会準備)	和田ふるさと館
10	12月22日(金)	クリスマスお楽しみ会 閉講式	和田ふるさと館

○講座を終えて

今年度は、身近な自然環境や身近にあるものを工夫した楽しい親子遊びを中心に講座を行い、日ごろから親がどのように遊びの中で子どもの自立を支えるべきかを学んでもらうことができました。

2 . 青少年教育事業

剣道教室

- 開設趣旨 剣道の稽古をとおして、子どもたちの心身の鍛錬と仲間づくりによる青少年の健全育成と、保護者の連帯を図る。
- 対象・人数 地区の小学生 延べ392名
- 期間・回数 平成18年5月～18年3月 24回
毎週土曜日 午後2時～4時
- 学習目標 剣道をとおして礼節を学び、たくましい心身をつくる。仲間の大切さを知ると同時に、お互いに切磋琢磨することの重要性を学ぶ。
- 指導者 寺田政一
- 協力者 鈴木富雄・京極勇剛・藤崎英樹・江野沢清美
- 学習内容 剣道の基本修得・月例試合・対外試合・級位審査会 等
- 講座を終えて

今年度は、剣道を通して、子どもの心身の訓練や仲間づくりを図りました。また、親の会も昨年に引き続き、自主稽古を企画するなど活発に活動しました。今後も、子どもたちの育成の場として地域の方々と協力しながら継続していきたいと考えます。

佐倉っ子塾おもしろ体験教室

- 開設趣旨 和田地区青少年育成住民会議等と和田公民館が共催で行う事業で、地域住民の協力を得ながら、地域素材を活かした体験教室を通じて青少年の自立と健全育成を図る。
- 対象・人数 子ども料理教室 和田小学校の1～6年生 延べ 45名
交流福祉グラウンドゴルフ大会 和田地区の小学生以上の人 12名
子ども凧作り 和田小学校の1～6年生と保護者 9名
- 期間・回数 平成18年6月～19年2月 5回
午前9時30分～12時（凧作りのみ午前9時～午後3時）
- 学習目標 地域住民や地域組織と協働し、子どもたちを地域住民で見守り育む場とする。
- 指導者 六崎美知代（体育指導委員） 山本 等（青少年相談員）
- 共催 和田地区青少年育成住民会議（全事業共催）
社会福祉協議会和田支会（交流福祉グラウンドゴルフ大会共催）
- 協力者 主任児童委員、青少年相談員、和田子ども会
- 学習内容 料理・グラウンドゴルフ・凧作りなど
- 学習プログラム

月 日	テ ー マ	内 容	指 導 者	会 場
7月 2日 (土)	第1回子ども料理教室	夏らしくパナコッタのフルーツ添えとかたやきそばのあんかけの2種類を、班ごとに協力し合って作りあげた。	六崎 美知代	和田公民館 実習室
10月29日 (日)	和田地区交流福祉 グラウンドゴルフ大会	和田の子どもからお年寄りまでが、一緒に楽しくグラウンドゴルフを体験した。	六崎 美知代	和田小学校 運動場

11月26日 (土)	第2回子ども料理教室	豚肉のロール焼き・卵のスープ・スイートポテトケーキの3種類に挑戦した。最後に試食したが、ボリュームがある料理であった。	六崎 美知代	和田公民館 実習室
12月16日 (土)	凧づくり教室	和田の各団体が協力し伝統の彦一凧作りに挑戦した。	青少年相談員 子ども会役員	和田ふるさと館 2Fホール
2月3日 (土)	第3回子ども料理教室	卵焼き器で作ったココアロール・ビスケットチョコぐるみ・おにぎり・豚汁とバラエティのある4種類のメニューが完成した。	六崎 美知代	和田公民館 実習室

○講座を終えて

すべての事業は、和田地区青少年育成住民会議などの地域団体と公民館が共催で実施しました。

「料理教室」は、子どもたちが男女に関係なく生きるために『食生活』において自立することを目的に実施し、色々な新鮮野菜を使ったメニューは、人気があり参加者が多かったです。尚、子どもたちは、熱心に学び料理に興味を持ち、作る楽しさ・出来たときの喜びを感じ取ってくれたと思います。料理は、持続することと体験の積み重ねが大切で、その結果、自信にもつながるので、今後も継続させていくつもりです。

「グラウンドゴルフ」は、住民会議と和田地区社会福祉協議会と共に実施し、地域の子どもの地域住民が交流し青少年の健全育成を、地域で考える場となっていると思います。

「凧作り」は、住民会議と青少年相談員・和田地区子ども会の共催で実施し、子ども達が自分の力で伝統的な彦一凧を作り、凧揚げをしました。凧には、子ども達が絵を描き、それを大空に揚げましたが、なかなか揚がらない子どもに、まわりの大人が手伝うなど、地域で子どもを育てる機会となっています。

今後も、地域の方々と協働し色々なおもしろ体験を通して青少年の健全育成を地域と共に考えていきたいと考えます。

夏休みおもしろ体験合宿

開設趣旨 子どもの自主性、協調性、社会性を高めるため、保護者と地域の協力により、子どもたちに共同生活体験の機会を提供する。

対象・人数 地区の小学生4年～6年 男4・女9 計13名(延べ26名)

期間・回数 平成18年8月17日～18日 1泊2日【和田公民館内で合宿】
午後2時集合 午後0時30分散

指導者 六崎美知代 ほか

講座を終えて

今年度新規事業として開設しました。「体験合宿保護者打合せ会」を事前に開催し、体験合宿内容の企画について、体験合宿当日の夕食、宿泊、朝食などの際の保護者サポート当番について、の打合せを行いました。

合宿では、身近な生活の中から子どもたちが学習する動機を見出すことができるように、の体験学習を行いました。

クッキング教室(一汁二菜をテーマに、食教育の視点を取り入れたクッキング教室)

理科実験教室(印旛沼と和田地区に流れる川の水質検査とその浄化実験をとおして、環境教育の視点を取り入れた理科実験教室)

天体観測(パソコンで夏の星座の学習をした後、実際に望遠鏡を使った天体観測)

3 . 成人教育事業

パソコン講座

- 開設趣旨 初心者を対象に、パソコンの基礎技術を習得し、情報活用能力の向上を図る。
 対象・人数 成人 延べ56名
 ○期間・時間 平成18年6月 午後7時30分～9時30分 4回
 平成18年12月 午前9時～11時30分 1回
 ○指導者 地域人材者と職員
 学習プログラム ()内は延べ人数

回	月 日	内 容	人 数
1～4	6 / 2 ・ 6 / 9 6 / 16 ・ 6 / 30	パソコンの基礎 地域情報誌の作成	12 (44)
5	12 / 13	2007年カレンダーの作成	12 (12)

講座を終えて

パソコンを使ったことがない、パソコンを買ったけれど使い方がよくわからないといった初心者を対象に、パソコンの基礎技術を習得し、さらに地域情報誌などの作成に挑戦して情報能力の向上を図りました。

地域活動実践パソコン教室

- 開設趣旨 名簿、会計簿、領収証、会報誌の作成など、地域活動の実践現場で役立つパソコン技術を学習する機会を提供し、地域人材育成を図る。
 対象・人数 成人 延べ13名
 ○期間・時間 平成19年2月16日(金)・2月23日(金)
 3月2日(金)・3月9日(金)・3月23日(金)
 午後7時30分～9時30分 全5回
 ○指導者 地域人材者と職員
 講座を終えて

和田地区社会福祉協議会や自治会などで実際に地域活動を行っているかたが参加し、自作の会報誌をパソコンで作成することを目標に学習しました。

ハンギングバスケット教室

- 開設趣旨 地域の中に四季折々の花を育て飾りつけていくハンギングバスケットを通じて、住民自らが美しい街並みを創造する人材の育成を図る。
 ○対象・人数 地区の成人 延べ 37名
 ○期間・回数 平成18年5月21日(日)、7月23日(日)
 平成18年9月24日(日)、11月26日(日) 全4回
 午前9時30分～12時
 ○指導者 白瀧 嘉子
 ○学習内容 好みのハンギングバスケットを選び、四季折々の草花を何種類か生けこんでいく作業。生け込みの基本がきちんとマスターできるように、また春・夏・秋・冬の四季の感覚を養うために4回シリーズで計画して実施する。
 ○講座を終えて

ハンギングバスケットは、家のまわりや街を美しく飾る花と緑の演出です。各種のお花と用途に合ったバスケットの選び方の基本を学び、四季折々のハンギングにチャレンジすれば、自分の創意工夫次第で、きっと美しい街並みを作り上げることが出来ます。これからも積極的に取り組んでもらいたいです。

エアロビクス教室

- 開設趣旨 地域の中で定期的に地域住民が集い、健康増進を図ることができる場として、体力の向上・ストレスを解消するエアロビクス教室を開設する。
- 対象・人数 地区の成人 延べ 102名
- 期間・回数 平成18年 9月26日(火)、10月24日(火)
平成18年11月28日(火)、12月19日(火)
平成19年 1月23日(火)、2月27日(火) 全6回
午後7時30分～8時30分
- 学習内容 音楽のリズムに合わせて、ストレッチとダンスステップをリズムカルに行うフィットネスを月1回行い、体力の向上、ストレス解消等を図る。
- 指導者 伊藤 晶美
- 講座を終えて

今年度、新規事業として始めたエアロビクスでしたが、直ちに定員に達しエアロビクスの人気の高さが、あらためてわかりました。半年間、しかも月1回の開催でしたが参加者がどんどん増えてきました。皆さん、次年度の開催も心待ちにしています。

ふるさとの味工房

- 開設趣旨 和田地区の特長を活かし、食材を地元の物を使用して食文化の伝承を図る。
- 対象・人数 成人 延べ 54名
- 期間・回数 平成18年9月～平成19年2月 4回
- 学習プログラム

月 日	テ ー マ	内 容	指 導 者	会 場
9月27日 (水)	和田の新鮮野菜 料理講座	和田産の新鮮なもぎたての野菜を使った新鮮野菜料理講座とあって、見た目も美しく、しかも美味しく栄養価の高い5種類(大和芋入ハンバーグ他4品)を指導してもらいました。	食生活改善 推進委員和 田支部	和田公民館 実習室
10月20日 (金)	太巻き寿司講座	秋のシーズンにふさわしい優雅な「揚羽蝶」とおめでたいイメージの「亀さん」の2種類の巻き方を指導してもらいました。	伊藤英美子	和田公民館 実習室
1月26日 (金)	大和芋のおいし い食べ方講座	和田地区のみで実施していたが、市内一円に公募して募集したところ、とても人気があり大勢の方々が参加してくれました。地元で栽培された新鮮な大和芋を使って、明太子とろろスパゲッティ 他5種類のメニューを手際よく作り、受講生全員で試食し、とても好評でした。	伊藤英美子	和田公民館 実習室
2月22日 (木)	太巻き寿司講座	可憐な「花椿」と小型でとてもかわいらしい「兎さん」の2種類の太巻き寿司を指導してもらい、みんな立派に巻き上がり、とても満足していました。	伊藤英美子	和田公民館 実習室

講座を終えて

今年度のふるさと味工房については、太巻き寿司・和田の新鮮野菜料理講座は、和田地区対象に実施しましたが、大和芋の美味しい食べ方講座については、「和田の大和芋」を市内一円に知ってもらおうという趣旨から、広報で参加者を募集したところ、うれしいことに参加者がすぐにいっぱいになってしまいました。参加者同士、ともに学び、講座を通じて、ふれあいお互いのコミュニケーションを深められました。又、とれたての新鮮野菜をおいしく食べる講座は、特に、人気が高く、とても好評でした。和田地区は、特産品の和芋をはじめ、農産物がいろいろと豊富なのでこれからも講座の中で是非、取り入れていきたいです。

ハーブ教室

- 開設趣旨 地元で栽培されているハーブを使って、クッキングやアレンジメントなどに挑戦し、健康づくりや染色の仕方・香りの演出などを学ぶ。
- 対象・人数 地区の成人 延べ 37名
- 期間・回数 平成18年6月～平成18年12月 3回
- 指導者 石田 幸子
- 学習目標 地元で栽培されているハーブを使った実習をとおし、地域住民が気楽に集い交流する場をつくり、お互いを高めあい生きがいづくりにつなげます。
- 学習プログラム

月 日	テ ー マ	内 容	会 場
6月28日 (水)	フ ェ ン ネ ル (染 め 物)	草木染めの中のジャンルの一つがハーブ染めで、ハーブのほとんどが口にすることが出来るので、気軽に染め物が出来るということです。ハーブ染め(フンネル使用)の手順に従って、ストールを染色しました。グリーンの綺麗なストールが出来上がり、とても感動していました。	和田公民館 実習室
9月14日 (木)	藍の生葉染め (染 め 物)	ふるさと館の畑でも栽培していた藍の生葉を使っての染め物、サラシ・シルクの2枚を使用してトライしました。サラシの方は淡い水色に染まりましたが、シルクの方はまさしく綺麗な藍色に染め上がりました。染め物の種類によって微妙に色が変化することがわかりました。	和田公民館 実習室
12月14日 (木)	ソーセージ作り	今年度最後の締めくくりとして、みんなでソーセージ作りに挑戦しました。ラードのみじん切りから玉ねぎ・ハーブ(ローズマリー他)のミキシングを羊腸に詰め込む作業、フライパンでボイルして出来上がり。お肉がたっぷり詰まったハーブの香りがするボリュームたっぷりの美味しいソーセージに受講生一同、とても満足していました。	和田公民館 実習室

講座を終えて

地元で栽培されているハーブを使っての食材作りや染め物など、3回の講座の中でハーブの魅力を引き出すための料理方法や利用法、また、今年度については染め物に挑戦しハーブを思う存分満喫できました。“香りよし、食べてよし、健康によし”三拍子そろった魅力的なハーブを身近に感じられるようになりました。本年度については、ハーブの魅力を引き出す料理方法や染め物などを学びましたが、とても好評でした。

佐倉学・和田ふるさと講座

開設趣旨 和田ふるさと館歴史民俗資料室の展示内容を補完するとともに、和田地区の歴史や民俗、自然や地理を学び、和田地区に対する知識理解を深め、郷土愛の育成を図る佐倉学を推進する。

対象・人数 成人（児童） 延べ 127名

期間・回数 平成18年4月～平成19年1月 6回

学習プログラム

月 日	内 容	指 導 者 等
4月 8日（土）	ふるさとカメラ散策会「野草の観察」	松平喜美代氏（植物研究家）
7月21日（金）	親子おもしろ体験「はたおり」	和田はたおり保存会
9月30日（土）	ふるさとカメラ散策会 [秋の和田の歩き方]	堀越知道氏（写真家）
10月 7日（土）	ふるさと講演会「植物と民俗」	押尾 忠氏(民俗研究家)
12月23日（土）	しめ飾り講習会	民俗資料収集委員会
1月27日（土）	ワラぞうり作り体験	藤井 毅氏

講座を終えて

散策会は自然環境に対する関心を高めながら、地域の歴史や民俗を学び、住民とのふれあいも取り入れた内容となっており、今年度は米作りや大和芋栽培について地元農家のお宅にお邪魔して、栽培にまつわる苦労話などを聞くことができました。10月に行った講演会では、植物と民俗の関わりについて学び、昔からの言い伝えの中に子供を育てていくための道徳的な教えが含まれていることを知りました。

伝統技術を学ぶ機会として、親子で学べる「はたおり」、しめ飾り講習会のほかに、約20年ぶりに公民館事業として「ワラぞうり作り」を復活させました。地元のお年寄りの協力で復活した事業ですので今後とも継続して実施していきたいと思っております。

避難所運営訓練

○**開設趣旨** 和田地区住民を対象として、避難所開設のために必要な訓練を実施することにより、災害発生時における秩序ある行動と助け合いの精神を醸成し、円滑で適正な避難所運営を実現していくことを目的として開催しました。

○**対象・人数** 和田地区市民 143名

○**期間・回数** 1月12日 1回

○**学習目標** 地域での防災活動が促進されることをねらいとして第1回目の訓練を公民館主導で実施し、訓練方法や関係機関との連携を学んでもらう。

○講座を終えて

今回の訓練は、和田地区社会福祉協議会と和田小学校と連携しながら、市交通防災課の協力を得て実施しました。和田地区では初めての避難所運営訓練となりましたので、住民にとっても災害時の心構えと安心に繋がる事業になったと思います。主な訓練内容としては発電機操作、浄水器操作、簡易トイレ組み立て、給食訓練（アルファ米の炊き出し）の4つで、その他に和田小学校の児童全員に、起震車で地震体験をしてもらいました。このような事業は繰り返し実施していくことが大切であり、今後ともこのような訓練の場を提供していきたいと思っております。

4 . 高齢者教育事業

長命大学

○開設趣旨 高齢者が心身共に健康で生き甲斐のある生活を送れるよう、様々な学習機会を提供する。

○対象・人数 60歳以上の男女 延べ86名

○期間・回数 平成18年6月～18年12月 4回

○学習プログラム

回	日時	学習内容	指導者等	会場	人数
1	7月5日 (水) 10:00～11:30	「なつかしの日本映画」	日本アカデミー賞協会会員 伊東芳幸	和田ふるさと館	11
2	7月12日 (水) 10:00～11:30	「なつかしの歌とアコーディオン演奏」	アコーディオンさくら 代表 石井芳子	上別所区民会館	19
3	10月18日 (水) 9:30～16:30	和田地区交流バス見学会 「昭和の東京 VS 平成の東京」	職員	東京タワー お台場	44
4	12月10日 (日) 10:30～12:30	「あったか朗読とあったかうどん」	こおろぎの輪 代表 内田正恵 おやじの食事学同好会 代表 奥平英明	上勝田区民会館	12

○講座を終えて

今年度の長命大学は、地域の区民会館等におじゃまして開催しました。また、高齢者と地区住民との交流事業としてバス見学会を実施し、ふれあいの機会としました。これからも地域団体に協力を求めながら、地域で高齢者を支える機会となるような事業を検討します。

長命大学 手芸教室

○開設趣旨 高齢者が心身ともに健康で生き甲斐のある生活を過ごせるように、手芸を通し、高齢者の親睦と生き甲斐作りを進める。

○対象・人数 60歳以上の女性 延べ58名

○期間・回数 平成18年5月～18年3月 毎月2回

(2回のうち1回は自主活動) 10回

○指導者 佐藤 節子

○学習内容 リフォームを中心とした編物、文化展に作品展示

講座を終えて

長年にわたる活動で、手芸技術はかなり高度なものとなっている。高齢者どうしの親睦をはかると同時に家庭内での高齢者の役割を考える為にも重要である。受講生が減少しつつあるため、公民館だよりや口コミなどで呼びかけていきたい。

5 . 広報・展示事業

広報事業

公民館だより 公民館主催事業や地域行事等の情報を提供する。

発行 年6回発行(5月、6月、8月、9月、10月、12月)

配布方法 区長を通し各戸配布

展示事業

和田ふるさと館歴史民俗資料室展示事業

事業趣旨

平成13年4月1日、和田ふるさと館内に和田公民館別館として「和田ふるさと館歴史民俗資料室」が開室しました。展示の中心となる農具・民具の実物資料は、昭和45年より和田小学校PTA民俗資料収集委員会が地区内に散在する資料の収集を行い、平成11年に佐倉市への寄贈を受けたものです。

歴史民俗資料室は、和田地区の歴史環境・自然環境と地域の人材を活用した地域づくりの拠点、市民の生涯学習の拠点としての機能を持ち、学校教育の支援も行っています。

なお、小学校等団体見学については、地区高齢者によるボランティアガイド、和田はたおり保存会によるはたおりの実演を引き続き実施しています。

入室状況

入室者数 合計 1,670名 (入室票記入個人 及び 事前申し込み団体)

月別		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
区分														
個人	人数	22	12	14	32	32	24	68	63	40	40	15	51	413
	件数		7	6	1									14
団体 小学生	人数		508	430	93									1031
	件数	1	1	1	2					1				6
団体 一般	人数	24	14	52	96					40				226
	件数													

文化展

開催趣旨

平成4年度に、「和田ふるさとまつり」の特別展事業として実施したものを平成5年度より公民館事業として位置づけ、公民館で実施した主催事業の紹介、公民館活動グループの作品発表、また広く地域住民に呼びかけて、個人作品を出品してもらい、地域交流の場の提供を行っている。

入場者数

217名

期間

平成18年11月17日(金)～19日(日)

会場

和田公民館

内容

はたおり作品展・手編み作品展

生花作品展・手芸作品展

刻字作品展・篆刻作品展

個人作品展

6 . 団体育成事業

和田小学校 P T A 民俗資料収集委員会

昭和 4 5 年、和田小学校 P T A が校史編纂と民俗資料の収集活動をはじめ、4 6 年 1 1 月に収集委員会を設置しました。収集された民俗資料は、和田小学校郷土学習室、和田公民館民俗資料室での公開を経て、平成 1 1 年 1 0 月に佐倉市へ寄贈されました。

現在では民俗資料の収集自体は概ね終了しており、収集委員会では引き続いて、地区住民や公民館と連携し、民俗資料の活用や伝統技術の伝承等の活動を行っています。和田小学校児童に対する活動を積極的に行い、各種事業を通じて子どもと触れ合う時間を多く持つことが出来ました。特に小学校の総合的な学習の時間を利用して、5 年生にミニぞうり作りの指導をしました。

又、恒例のふるさと祭りやしめ飾り講習会など、和田の特色を生かした活動を実施しました。公民館では地域の民俗や歴史学習の一環として収集委員会の活動を援助しています。

平成 1 8 年度 和田小 P T A 民俗資料収集委員会活動内容

月 日	活 動 内 容
6 月 9 日 (金)	役員改選・事業計画
6 月 2 5 日 (日)	バラッパまんじゅう準備、サルトリイバラ採取と塩漬け作業
1 0 月 2 7 日 (金)	ふるさと祭り・しめ飾り講習会打ち合わせ
1 1 月 1 8 日 (土)	伝承遊び・バラッパまんじゅう準備
1 1 月 1 9 日 (日)	和田ふるさとまつり (伝承遊び・バラッパまんじゅう配布) 参加者 4 6 2 名
1 2 月 2 3 日 (土)	しめ飾り講習会 しめ飾りづくりの講習 参加者 3 7 名
2 月 1 5 日 (木)	和田小ワラ細工体験 5 年生がミニぞうり作りに挑戦 1 9 名 指導者 藤井 毅
3 月 2 3 日 (金)	収集委員会会議 事業報告・会計報告

和田はたおり保存会

和田小 P T A 民俗資料収集委員会の活動で収集されたはた織機を、地元の高齢者が中心となって復元し、昭和 5 1 年に和田公民館で開講したはたおり講座の受講生によって、和田はたおり保存会が結成されました。公民館では、和田地区の伝統技術の保全と、はたおり機の動態保存の面から援助を行っています。主な活動としては、年間を通じての定期活動や綿の栽培、5 月・6 月にかけて歴史民俗資料室を訪れた 1 0 0 0 人を超える小学生に対して、糸づくりやはたおり機の実演を行いました。

また 7 月には公民館主催の「親子おもしろ体験」に指導者として協力して、はたおりの面白さを参加者に伝えていきます。1 1 月の文化展では、公民館にはたおりのメンバーの方が作った作品展示や、又、ふるさと館を会場として希望者にはたおり体験をしてもらいました。

和田ふるさとまつり

趣 旨	和田地区青少年育成住民会議が実施してきた体育大会を、和田ふるさとまつり（平成5年2月）をきっかけとして、「拡大実施しよう」との声が地域で高まり、住民会議を構成する各種団体が主体となって、この和田ふるさとまつりが実施されている。このような地域ぐるみ活動を、公民館では積極的に支援し協力している。
参加人数	一般市民（小学生～高齢者） 462名
日 時	平成18年11月19日（日） 午前9時～午後1時
内 容	剣道野試合・伝承遊び・餅つき・豚汁・バラッパ饅頭・体脂肪測定・バザー・応急手当講習・バクダン菓子

7 . 図書事業

趣 旨 読書活動を支援していくと共に、個人学習や集団学習への資料提供を行い、学習の深化を図る。リクエストの受付や他館からの返却受付などの利用者の便を図る。また、和田地区関連資料や佐倉市関連資料を収集し、貸し出すことにより、地域理解を深めるための支援を行う。

蔵 書 数 1,800冊

月別貸出数・返却数

月別 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
貸出数	22	6	0	1	0	14	5	16	2	7	24	0	97
返却数	108	66	132	112	78	65	91	61	73	34	100	66	986